開倫塾教育講演会シリーズ

受験生は夏休みに勉強時間を大幅に増やそう

―開倫塾の自習室を活用しよう―

開倫塾
塾長　林　明夫

Q：夏休みに偏差値を５アップさせようと開倫塾では大キャンペーンをしていますが、本当に１ヶ月ちょっとで偏差値が５も上がりますか。

A：(林明夫。以下省略)私が今からお示しする方法で 1 ヶ月ちょっと勉強すれば、「全員必ず」とははっきり言い切れませんが、かなり高い確率で「偏差値 5 アップ」は可能です。

Q：どんな方法ですか。アドバイスをお願いします。

A：第 1 のアドバイスは、開倫塾の夏期講習、お盆特訓、8 月分授業、8 月下旬の業者模試対策授業の全てに休むことなく必ず参加してくださいということです。

Q：分かりました。全部参加します。次にやることは何ですか。

A：開倫塾の多くの校舎では、授業のない教室を「自習室」として、夏休み中開放します。講習会に参加している方も含めて全ての塾生は、「保護者の承諾書」と「担任の先生の推薦書」があれば「校長先生の許可」のもとで、規則に従って「自習室」の使用が認められます。「自習室」の使用が認められた塾生は、「自習室」が使用可能な時間はできるだけ長く「自習室」で勉強すること、これが第 2 のアドバイスです。

Q：どんな「規則」つまり「ルール」が開倫塾の自習室にはあるのですか。

A：①指定された席を使用すること。②おしゃべりは一切しないこと。③携帯電話の電源を切ること。④飲食は指定された以外はしないこと。⑤退場を命じられたら、反省文を書いた後、即刻退場すること。

静かに 1 人で勉強する時間を提供することが「自習室」の目的ですので、この目的を妨げる一切の行為は認めません。

Q：けっこう厳しいのですね。

A：当然です。勉強は自分自身を鍛(きた)えるために行うのですから、ルールは必ず守ってもらいます。開倫塾が用意した全てのプログラムに参加した上で一人で静かに勉強する習慣を夏休みの間に 1 日も早く身に付けることが、偏差値 5 アップの秘訣です。部活動、あるいは武者修行だと思って

開倫塾の「自習室」で一人静かに長時間勉強する習慣を、この夏休み中に１日でも早く身に付けてください。

皆さんは、中学校卒業後、高校や大学に進学します。「１人静かに長時間勉強する習慣」は、高校や大学で必ず役に立ちます。社会に出てからも、困難に立ち向かう時には「１人静かに長時間勉強すること」が必ず必要となります。自分の力で深く考えて難しい問題を解決する時にも、「１人静かに長時間勉強すること」は欠かせません。「受験勉強」は自分の力で勉強する力(自己学習能力)を身に付ける良いチャンスです。

Q：「自習室」で何を勉強したら良いのですか。

A：新しいことを「うん、わかった」「そうか、こういうことだったのか」と「理解」するための勉強も大事です。ただなんとなく分かっている、つまり「理解」はある程度できているのだが、良く身に付いていないことも多いと思います。開倫塾の「自習室」では、夏休みに開倫塾の先生方から授業中習ったこと、つまり「理解」したことを、「定着」させるための「作業」をすることをお勧めします。

Q：「定着」とは何ですか。

A：一度「理解」したことを何も見ないでスラスラ言えるようにすること。これに加えて、「理解」したことを何も見ないで「楷書」でスラスラ書けるようにすること。簡単な計算は問題を見たらパッと答えが書けるまでにすること(15 × 3 ＝ 45 のように)。これを「定着」といいます。

夏休み中に開倫塾の先生から習った内容や開倫塾の夏期講習・お盆特訓のテキストを確実に「身に付ける」ために、定着のための作業をコツコツ「自習室」ですることが大切です。

Q：自習室が使えない時はどうしたらよいのですか。

A：自分の家の空いているスペースで、「定着のための作業」中心の勉強をする以外ありません。私は第 3 のアドバイスとして、朝起きたらすぐに勉強を始めることをお勧めします。午前中も本気になれば 4 ～ 5 時間勉強できます。

Q：夜はどうしたらよいのですか。

A：風呂やシャワーを使い、10 時過ぎには床に就いて翌朝に備える。夏の夜、遅くまで起きていて偏差値を上げるのは難しいと思います。夏休み中は夜は 10 時過ぎには床に就き、朝は 5 時過ぎから机に向かうことをお勧めします。短い時間の昼寝、体操、家の手伝い、１日 1 時間「新聞」を読むことも、身体と精神のバランスを保ちながら健全な形で偏差値をアップさせることに欠かせません。では頑張ってください。